

幼稚園児の保護者を対象とした英語の学び直しプログラム

—小学校英語必修化を大学と家庭からサポート

English Programmes for Pre-school Children:
How Should Parents Teach English at Home?

岡田江美

文学研究科英文学専攻

キーワード：英語教育，小学校英語必修化，幼児英語活動

1. 研究目的

本プロジェクトは、平成23年度からの小学校英語必修化を睨み、英語嫌いな子供の増加を防止するための方策を提言することを目的としている。現状は、早期英語教育の必要性が叫ばれる中、英語嫌いは確実に低年齢化しているが、その背後には英語の学習経験はあっても活用の機会がないままになっていることがあると考えられる。したがって我々は、幼少期からの家庭環境、特に保護者が英語嫌いであるかどうかを重視した。

本学の人間生活文化研究所は本プロジェクトを通して、保護者の英語学び直しのためのプログラム開発を行うことで、国際人育成のための下地づくりを行うことを目指す。

2. 活動実施報告

今年度の活動は次の2つである。

1) 幼稚園児保護者のための英語で書かれた絵本のガイドブック作成、及び 2) 幼稚園児とその保護者が共に参加できる「家庭での英語指導ワークショップ」の開催。

英語の絵本は巷に溢れており、そのため、絵本の解説書やガイドブックの類も多く出版されている。しかし、その多くは、英語の運用能力育成に主眼が置かれており、絵本の内容の豊かさが重視されていないものが少なくない。

そこで既存のものとは異なり、絵本の読み聞かせを通して、子どもが周囲の人々との絆を深め視野を広げつつ英語が学べるような絵本のガイドブックを作ることを企画した。

我々研究員が実際に区内の幼稚園で過去に使用した教材の中から、家庭で保護者が子供に気軽に読み聞かせができるものを12冊選び、解説をつけた。これらの絵本のすぐれている点は、単純なス

トーリーの中から、より深い人生への教訓やモラルを自然な形で子供に教えることができる点にある。従って、ただ楽しいだけでなく、社会性、国際性、モラル・マナーの育成といった観点から、絵本を選んで分類することを心掛けた。また、家庭での読み聞かせは、たとえ短時間でも、毎日の親と子の心の交流の場として大切であるが、その交流の中で英語を学んでこそ、心と言葉が違和を生じることなく英語が身につけられると考え、簡単な英会話のヒント、英語と日本語の音の違い、英語圏と日本の文化の比較に関する記述や説明をつけた。

次に、家庭での英語学習活動を応援するために、親子で参加できる英語のワークショップを2回開催した。また学術講演等を主催したり、コンサート等を協賛したりした。これらのイベントの詳細については、下記を参照していただきたい。

3. 研究目標の達成状況

当初の予定では、英語の学び直しコースとして、保護者対象のレクチャーと親子参加型セミナーをそれぞれ数回ずつ開催し、体系的な英語の学び直しカリキュラムを立案する予定であった。しかし、幼児を抱える保護者は、英語活動に興味があっても子育てに忙しく、連続したレクチャーに毎回参加することは容易なことではない。そこで、レクチャーの数を減らし、その代替として、家庭で気軽に読める英語絵本のガイドブックを製作することにしたのである。これにより、今回のプロジェクトでも、英語絵本の読み聞かせを通じた英語指導を体系的にまとめることができた。

また、国際性豊かで同時に地域貢献ともなるようなイベントも開催した。保護者対象の英語のワ

大学院生研究員研究成果報告

ークショップや講演会、公開講座としての学術講演等を、主催、共催、協賛し、他にも英国大使館合唱団コンサートといった地域のためのイベントにも協賛した。但し、東日本大震災の影響により、予定していたローナン・マギルピアノリサイタルは中止せざるをえなかった。

4. まとめと今後の課題

小学校英語必修化に備える、幼児を抱える保護者のための英語学び直しカリキュラムの立案は、ガイドブック作成という形でまとめることができた。これを手掛かりに、更に体系的な幼児の為の英語指導案をつくっていきたいと考えると共に、地域の子育て支援となるような、地域と大学が提携する、国際性豊かなイベント等を、子どもの学習支援のために行っていきたいと考える。

5. 研究成果

1) 学会発表

千代田さくら茶まつりにおいて事業報告をする予定だったが、震災のため中止となった。

2) その他

(親子参加型講演会及びワークショップ)

アイルランドの家庭と教育施設における子育て事情, 2010. 10. 30, 10時40分～11時40分, マーガレット・グラント講師, 大妻女子大学千代田キャンパス A 棟 357 教室.

英語であそぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌ーハロウィンの絵本と歌ー, 2010. 10. 30, 12時45分～14時15分, マーガレット・グラント講師, 大妻女子大学千代田キャンパス A 棟 357 教室.

英語であそぼう！ 親子で親しむ英語の絵本と歌ーSt. Patrick's Day の絵本と歌ー, 2011. 2. 26, 12時45分～14時15分, マーガレット・グラント講師, 大妻女子大学千代田キャンパス A 棟 357 教室.

(公開講座)

加齢による心の変化ー男女の違いはあるかー, 2011. 3. 9, 16時～17時30分, オックスフォード大学名誉教授パトリック・ラビット博士, 大妻女子大学千代田キャンパス A 棟 564 教室.

6. プロジェクトに参加して

主に、『英語で遊ぼう！親子で親しむ英語の絵本と歌』の講師補佐を行った。このワークショップには、小学校入学以前の子どもが参加し、英語に触れる経験が初めての子どももいた。しかし、子供たちは皆、絵本や歌を通して英語に触れる事によって、自然と「Thank you」等の言葉が出てきて、英語を話すことが楽しくなった様子であった。また、単に英語に触れるだけでなく、アイルランド出身の講師の先生から、ハロウィンやセント・パトリックデイについて学ぶ事によって、国際的な文化交流が行えたと考える。保護者の方も英語で、文化や歴史を知る事によって、今回のワークショップで使用した教材(絵本等)の理解が深まり、結果として家庭での英語学習の手助けに繋がったと思った。本プロジェクトに参加し、英語教育が子どもの感性を豊かにし、国際性を高める方向で実践していける様々な手掛かりを掴めた。



(2011年2月26日)

プロジェクト参加者名

井上美沙子¹⁾, 守田美子¹⁾, 廣瀬友久¹⁾, 上野優子²⁾, ゴードン・リバシッジ¹⁾, チャールズ・プリブル³⁾, 池頭純子⁴⁾, 丸山協子⁵⁾

¹⁾短期大学部英文科, ²⁾人間関係学部人間福祉学科,

³⁾文学部コミュニケーション文化学科,

⁴⁾山脇学園短期大学, ⁵⁾日本女子大学